

令和3年7月31日
作成：風早北部地域ふるさと協議会
防犯防災部

第2回防災活動に関する意見交換会・議事録

- ◆ 開催日時：令和3年6月26日(土) 午前10時～午前11時40分
- ◆ 会場：沼南近隣センター1階 大ホール
(会場は当初2階学習室を予定。定員を超える参加者が予測され急きょ大ホールに会場を変更した)
- ◆ 出席団体(○数字は複数名参加)：大井区・新舟戸町会・井堀内町会・追花町会・柏東パークホームズ管理組合・沼南エリカマンション管理組合・中郷町会・中の橋町会・緑台町会・大島田区②※・塚崎区・塚崎二丁目自治会②※・大津ヶ丘二丁目町会・大津ヶ丘三丁目町会・大津ヶ丘四丁目町会・大津ヶ丘第一住宅管理組合・同第三住宅管理組合・手賀の杜自治会②※、風早中学校・大津ヶ丘中学校・大津ヶ丘第一小学校及び風早北部小学校 以上 22団体／25名
オブザーバー参加：柏市地域支援課・柏市沼南近隣センターから2名
※大島田区、塚崎二丁目自治会及び手賀の杜自治会は事務局枠での各+1名参加（各団体からの出席者名は別途当部事務局で管理しています）
上記以外では柏市教育委員会関係部署である学校教育課1名、生涯学習課2名が説明会の講師として、また市中央公民館から見学者2名が臨席された。

1. 防犯防災部長冒頭あいさつ

内容の骨子は会議配付資料（巻末の「別紙」）参照

2. 協議内容

(1) 第1回会議議事録案の確認

事前に提示した内容（配付資料2～6ページ参照）につき、修正なしで確認された。(案)を削除し、近々に当会ホームページ◎に掲載予定。

◎：<https://www.kazahayahokubu.com>

(2) 地域防災における現状との課題（配付資料8～16ページ参照）

-コロナ禍の避難所収容の限界と代替避難手段

前回の会議で説明した各学校避難所の収容数と実際に想定される避難所数のギャップ（第1回会議で配付資料の26・27頁を参照）につ

き、柏市には昨年末にコロナ禍での対応を要望しているが、具体的な解決に至っていないことを指摘。本件は継続課題として、今後市長からの正式回答の内容を踏まえ、不十分な点は指摘して改善を要求していく予定です。

-ペットとの同行避難に関する住民の理解

事実上、避難所へのペット同行の実効性が低い中、代替手段として自家用車避難やテントの用意推進を要望（これは上記避難所の狭隘化対策にも繋がる）。そのための駐車スペースの確保を柏市に要望中ながら、その実現も不透明である現状を説明。市行政の愛犬家などへの災害時の対応をしっかり案内するような事前対策が欠かせないため、関連の申し入れが必要と考え、今後の市との交渉協議に際しても触れていく予定。

-災害時の緊急連絡や有事医療体制の現状

総合病院の無い当地域では災害時に地域内の医師や看護師が不足、市はそれを応援体制で凌ぐことを説明しているが、大規模災害時にそれが担保される保証がないことが大きな問題。市側の災害時の対応の想定には相当の甘さを痛感しており、上記ペットの問題同様、今後も交渉協議のテーブルに乗せていく予定である。

-地域内のデジタル式簡易無線利用状況

非常時の緊急連絡体制の有効ツールであるデジタル式簡易無線器（トランシーバー）の地域内での導入状況を説明。昨年柏市沼南近隣センター主催で実施した無線交信訓練につき、感染症拡大もあり現時点で今年度の同訓練実施は未定である。災害時に電話が繋がり難くなることを補完するいわゆる命綱である無線機の導入検討を、未配備の団体に対して依頼した。

(3)学校と地域住民の連携に関する検討・協議

住民避難所となる学校との平時の協力関係なしに、相互理解を含めた災害対応が難しいとの視点で、住民と学校との協力推進を目指し、今回のテーマを設けた。冒頭で沼南近隣センター所長からのご案内を頂き、その後、柏市教育委員会担当部署である学校教育課並びに生涯学習課から、地域と学校の協働をテーマに説明をお願いした。

配付されたスライド形式資料に沿って、学校教育課からは「コミュニティスクール（学校運営協議会）」の取組みや具体的に市内各地で進めら

れている取組み内容、生涯学習課からは直近の社会教育委員会議の提言である「子供たちの生きる力をはぐくむ体験に大人が如何に関わるか」につき案内頂いた。その後に行われた場内からの質問や意見は以下のとおり。

- ✓ コミュニティスクールや学校運営協議会実施に際しての学校側の負担増を懸念→始動時は確かに負担感がある一方、本取組みはそれを経験した学童・生徒が成長後に地域への貢献が期待できるというメリットがある。
- ✓ 過去に当部でも大津ヶ丘第1小学校での特別授業の DIG（災害図上訓練のカリキュラム）に参加し、生徒に助言した経験がある。こうした地域住民知見を学校側に提供することは現状でも可能と考える。
→大津1小の特別事業の件は承知しており、地域住民がもつ経験や知識の共有を今後も提供頂けることには大いに期待したい。
- ✓ 旧沼南町の地域における活動が少ないと感じた。学校運営協議会に参加する住民メンバーはどういった方々になるのか。→風早南部地域の参加がある。協議会運営は校長や教頭が担当するが、職員任期期間での制約や学校側の取組み意欲に温度差があることは事実である。メンバーは各ふるさと協議会やスクールボランティアの住民を中心にお願いしている。

(4) 今期防災訓練等を実施予定の団体からの現時点で計画内容の報告

- 大津ヶ丘二丁目町会：安否確認訓練を秋口に予定。今後役員や班長での協議を深めていく。
- 塚崎二丁目自治会：今秋に安否確認訓練・有事における班長の役割確認を予定している。
- 井堀内町会：ふる協指定の10月17日実施を目指す安否確認を予定・他に住民に対する自助共助を考えるアンケートを配布、避難所となる二松学舎大学柏キャンパスの担当職員と当会役員との面談の機会を検討。
- 沼南エリカマンション管理組合：毎月の防災訓練（現在は感染症対策のため活動は縮小）、11月にその定期訓練として沼南消防署員を招き、消火訓練・起震車体験・AED 心肺蘇生訓練・備品等防災倉庫の点検を実施予定。←（ふる協事務局から）集合住宅管理組合での「消防訓練」の実施は当部でも把握済みである。

(5) その他の議題や事務局からの案内事項

-風北ジョイナス実施結果の報告【風北ジョイナス座長から説明】

堅苦しい内容や会議スタイルを脱し、気軽に話し合える雰囲気づくりやイベント参加協力、協議だけでなく自分たちが学べる内容を盛り込むこと、更にメンバーを募集につき話し合った。広報しようなん第35号（すぐ下の項目参照）でも1頁を割いてメンバー募集を行っている。

-広報しようなんの住民配布部数調査確認

配付資料の各団体別配布部数と配布予定日、その際の回収者へのお願い事項を説明した。当初予定の27日午後は、台風の接近で荒天が予想されるため、この日は予め希望する団体のみの事前予約での配付（大島田区と塚崎二丁目自治会のみ）とし、それ以外の団体には、6月29日の午後、7月3日の午前、同月4日の午後の日程で広報紙面を住民数配布することとなった。

-ふる協と各担当者間の連絡体制の再確認

改めて本会議終了後の資料の関係各団体宛の配付のタイミングを案内、更に防犯防災部グループラインへの参加を再度募った。【配付資料17頁の裏面参照】

-本会議出席者には配付資料を確実に後継者へ引継げるよう、専用のファイリングフォルダーを1団体1冊ずつ配付した。

-今後の日程

・本会議議事録案は7月4日以降で配信（原則電子メールで、メール未使用の方や個別に紙面提供希望の団体には紙面を増刷し配付）予定

・次回(HUG訓練：7月17日午前10時から)は、新型コロナの拡大状況が安定しない現状から、対面形式の本取組みにつき7月17日の実施は見合わせ、代替案としてその翌々週の**7月31日に「避難スマップ発動に関する講習会」を開催予定**（講師は柏市防災研究会から講師を招へい）。詳しくは7月10日の当会役員会終了後に正式なご案内を行う。

別途用意されたチラシ案を参照。
今回も一団体1名
参加となります

（注）新型コロナウイルス感染症拡大による千葉県内での緊急事態宣言の発令が8月末まで実施されることを受け、該講習会実施を9月25日午前中に延期している（7月31日時点）。

以上

【別紙】

防犯防災部長による会議冒頭のご挨拶文

ようやく梅雨の季節が本格的に始まり、すでに今月には国内の幾つかの場所で、ゲリラ豪雨や雹(ヒョウ)が降ってきたことが報じられている。台風シーズンもこれから10月頃まで続くことになる。昨年度は大型台風の上陸が少なかったが、2年続けてそうなるような記録がほぼないことで、一昨年のような巨大台風の上陸通過を警戒しておくことが必要である。

気象に関する新たな動きとして、今月(6月)17日から気象庁が線状降水帯(せんじょうこうすいたい)による大雨が予報された際に、「顕著な大雨に関する情報」が発令されることとなった。私たちは従来、こうした緊急の気象情報はラジオやテレビ地上波を通じて知らされてきたが、こうした受動的な情報収集では、危険が迫っていることでの時間との勝負である場合、最悪、自分の命や財産を失う可能性もあり、是非皆さん及び住民の方々には、自分で情報を積極的に収集する習慣をもっていただきようお願いしたい。具体的には、皆さんのお手元にある携帯電話(スマートフォンやアイフォン)を活用し、無料の気象情報アプリをダウンロードして、情報を瞬時に受け取れる対応を取って頂きたい。デジタルやインターネットはちょっと無理、苦手だとお嘆きの高齢者にも、是非、自分や同居家族の命とどちらが大切かを説いていただき、他人に頼らず自分で積極的に情報を収集することを促してもらいたい。

本日の議題では、この後、柏市の教育委員会関連部署である、学校教育課や生涯学習課から職員をお招きし、地域と学校との協働をテーマにお話を頂戴する。私たちの避難場所である学校との普段の協力関係なしには、有事の避難行動は安心して出来ないものとお考えいただき、本日の内容を基に、今後の避難訓練や防災活動に繋げて頂ければ幸いである。

以上